

# 薩南だより

## 鹿児島県立薩南工業高等学校

ホームページ

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/satsunan/>

Facebook

<https://www.facebook.com/SATUNANKOUGYOU>

設置学科（建築科・機械科・情報技術科・生活科学科）

### 墨 縄 の 精 神

校長 柚木 正人

本校の建学の精神「ひと筋に学び励みて墨縄の正しき道をふみなたがへそ」は、ものづくり教育をとおして社会で活躍できる人材を育てることを目指したものです。

これは、明治42年、10月20日、村立工業徒弟学校建築科第1期生20名の入学式式辞の中で宮原直二先生が詠んだ句です。

明治時代後半、工業の急速な発展に伴って全国で工業の人材育成が叫ばれていました。

しかし、身近に工場を見ることもなく中央から遠く離れた鹿児島では、そのような工業教育の必要性を理解することはとても難しいことでした。

そんな世相の中で、各地での視察を通して工業の人材育成の大切さを強く感じていたのが、知覧村の助役をしていた宮原直二でした。

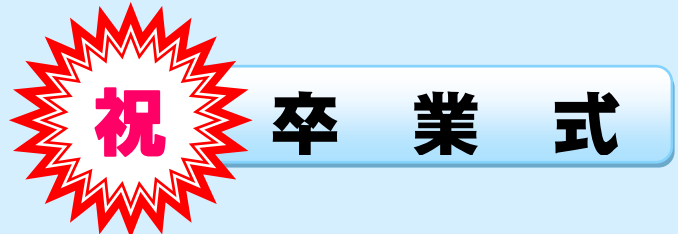
明治40年、第4代知覧村長に就任した宮原直二は、工業の人材育成を目指した村立工業徒弟学校の創設を村議会に提出しました。

まだまだ工業教育についての理解者などほとんどいない中、辞表を懐に入れて議会でその必要性を懸命に述べたといわれています。

最終的に宮原村長の熱意に動かされた議会は設立を決議し、その後、国から認可され建築科が設置されました。

この時代は農業が中心で鹿児島の一寒村にすぎなかった知覧村に、県下で2校目の工業教育の学校の灯がともされたのです。

以来、百七年、「ひと筋に学び励みて・・・」の句は墨縄の精神として本校で引き継がれています。



3月1日、第69回の卒業式が厳粛に挙行政され、125名が本校を巣立っていきました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。体育祭、文化祭、クラスマッチなどの学校行事、資格取得や部活動に一所懸命に取り組む姿勢は、後輩の手本となるものでした。

これからも周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに、立派な社会人として活躍してください。

また時には学校を訪れ、近況報告や後輩への叱咤激励もお願いします。

## 修学旅行



1月24日からの4日間、2年生は修学旅行に出かけました。強風等により若干の時間変更等もありましたが、ほぼ予定通りの行程で終了することができました。家を離れて、友と過ごす4日間、家族の有り難さを改めて感じたと、話をしてくれた生徒もいました。

企業見学もさせていただき、3年生になる自覚も芽生えたことでしょう。4月からは、学校を引っ張っていく存在になります。更なる躍進を期待します！

## ちらんまち二日市



2月4日、5日、知覧まち商店街で「ちらんまち二日市」が開催されました。本校は4日、学科の特色を活かした出店ブースを出し、多くの方に来て・見て・触れて・楽しんでいただきました。

特に毎年恒例の、茶ボラ(お茶のボランティア)が大好評で、多くの方が足を止めて、生徒が心を込めて煎れた、お茶を召し上がってくださいました。「毎年、薩南工業高校のブースを楽しみにしているよ」という嬉しい声もいただき、生徒が各学科の作品を活き活きとした表情で説明をしているのが印象的でした。



## 定期演奏会



2月12日、知覧文化会館に於いて、吹奏楽部定期演奏会が催されました。本校吹奏楽部の部員は5名ですが、知覧小学校金管バンド、加世田常潤高校、アンサンブル南星、指宿吹奏楽団の共演をいただき、大盛況の演奏会となりました。また、野球部員のダンス、生活科学科のファッションショーもあり、ステージ最後まで拍手喝采を浴びました。ご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

本校吹奏楽部は、保育園や介護施設、地域のイベント等に出向き演奏を行っています。機会がありましたら、是非お聴きください。

## お知らせ

離任式 3月28日(火) 9:30 ~  
本校体育館で行います